

平成28年度事業報告

生活介護事業所 みどり教室

1. 基本方針

重度の障害があっても地域の中で普通に暮らせることのできる街づくりを目指し、様々な社会資源を活用しつつ、重度の障害児者が求めるサービスを提供するとともに、より困難な状況にある方々の福祉に一躍を担うべく主体的に取り組むことを基本理念とする。

サービスを実施提供するうえにおいて、障害児者の多様なニーズに対して柔軟にかつ丁寧に応えることを基本姿勢とし、粘り強くその事業及びサービスの実施を試み、最大限の努力を行うことを本会の基本方針とするものである。

私たちの姿勢について

私たちは、「障害」ということばを生きていく上での困難さと捉えその困難な状況下で精一杯生きる対象者の有する権利と人格に対して、最大の敬意をはらうとともに、私たちが行う支援が効果をあげるべく、自己研鑽を行い、私たちの職務が対象者の福祉に貢献することを喜びとして、目前にある使命を、諦めることなく熱意を持って果たしていくことが、私たちの事業に対する姿勢であることを確認する。また、私たちが行う支援は利用者が主体となるものであり、私たち支援者の都合に基づくものであってはならない。これを私たちの取組みに対する姿勢であることを確認する。

2. 施設<みどり教室>として大事にしていくこと

① 利用者主体

一人ひとりの想いを尊重した活動を支援します

② 安全、安心の提供

清潔、安全な環境づくりを常に心掛けます

安心感を抱き、笑顔の絶えない日常を支援します

③ 人とのつながりの中で

地域の活動を通し、施設として個人として人とのつながりを深めていくなかで充実した時間を支援します

3. 職員の姿勢として大事にしていくこと

① 1日は挨拶ではじまり、挨拶で終わります。笑顔をやさしくことなく気持ちのよい挨拶を心掛けます。

② サービスを担う者として相応しい『言葉遣い』や『態度』を意識します。

③ 何事にも精一杯・丁寧に取り組み真摯な態度で向き合います

④ 常に成長できる職員集団をめざします

4. H28年度の取り組み

みどり教室では平成28年度においても全体を3グループに分け、各グループの特性をいかした目標の設定や方針を定め、さまざまなプログラムを取り入れ日中の活動を行いました。今年度においては、より多様な特性に配慮したグループ編成を行いました。3つのグループに加えプログラムの内容にあわせたより小さなグループを結成し、そのうえで提供状況や経過を把握し日々のプログラムを通して、どのような支援があればどのくらい生活が豊かに広がっていくかという観点から支援の課題を明確化し、課題に向き合いながら支援を行いました。

<グループ活動報告>

① 1グループ

作業を日中活動の基本として捉え、内職・作品制作を中心に行いました。今年度、商品化を目標としていた野菜チップスに関しては、仕事として意識をしながら手際よく取り組めるようになったものの商品化には至りませんでした。内職においては、その種類を増やすことにより選択や活動の広がりがみられたが、これまで取り組んできた内職の納品数が減るなど課題が残る結果となりました。また、利用者の皆さんの体調や機能に沿った決め細やかな支援をめざし、家族やOT・NSとも連携し運動やマッサージなど安全に配慮しながら行いました。

② 2グループ

作業を社会人としての役割を意識するきっかけの1つとして捉え、日中の活動の中心として取り組みました。昨年同様、個々のペースを大切にしながら成長や達成感を促せるような支援をめざしました。具体的な取り組みとして、内職作業においては積極的に補助具や提供の仕方を工夫しました。結果、今までできなかったことができるようになったり、意欲的に取り組む姿勢がみられるようになりました。販売活動においては、さまざまな地域へのイベントに参加し、販売を行うだけでなく委託販売場所へのたな卸し作業など楽しみながら達成感が得られるよう配慮しました。

③ 3グループ

作業が日中活動の大半を占め、内職作業においては納入期限を守りながら指定された個数を仕上げました。プログラムの内容にあわせたより小さなグループを結成し、ひとりひとりのニーズの把握、課題の明確化をめざしました。個別スケジュールを作成、作業だけでなくソーシャルなスキルの獲得を目指し将来をみすえたプログラムの実施を試みたものの、定着には至りませんでした。また、利用者・家族・主治医・各支援機関が支援会議等をとおしてそれぞれに連携を深めあい、機能の維持や生活の質の向上が図れるよう支援を行いました。

5. 防災関係

防災計画を作成し、防災訓練を実施しました。また、避難訓練だけにとどまらず、利用者にとって楽しみながら考えられる訓練（避難食の味に慣れる。お泊り支援。）の実施を目指しましたが実施には至りませんでした。

<防災訓練報告> H28年 7月 防災について、防災設備確認、点検、通報訓練
H28年10月 避難、誘導訓練（利用者・職員）
H28年12月 避難、誘導訓練（利用者・職員）子育てプラザ合同

6. 施設運営管理

- ① 利用定員 生活介護事業所（定員20名）利用者 25名（3月末）
- ② 職員 施設長、生活支援員（常勤・非常勤）、調理員、調理補助、看護師（非作業療法士）

7. 健康衛生管理

利用者の障害・健康の状態を的確に把握し、看護師と連携し疾病の予防、健康の増進に努めました。（健康・衛生計画表参）

健康・衛生計実施報告

	内 容	実 施	備 考
健康診断	血液・尿検査内診 等	H27年2月～3月	西中クリニック
O T	姿勢管理等	月4回 毎週火曜日	作業療法士
健康チェック・相談	血圧測定・検温	月4回 毎週木曜日	看護師・医師
理容・美容	散髪・洗髪等	月1回 第2火曜日	訪問理容 (KAMIYA)

8. 工 賃

毎月25日に工賃を支払いました。（H28年度月額平均：1,750円）

9. 会議等について

みどり教室においては、代表者会議・調整会議・定例会議・ケース検討会議・全体ミーティング・グループミーティングを開催し、円滑な活動の遂行を計りました。

■代表者会議 <2月・7月>

- ①年間行事の決定
- ②ケース会議の開催及び件数等決定

■調整会議<月1回程度>

- ①月間行事及び予定の決定

■全体ミーティング<毎日>

- ①毎日の連絡事項

■ケース検討会議<月1回程度>

- ①各ケースの方向性について

■定例会議<月2～3回>

- ①各行事の内容検討等

■グループミーティング毎日

- ①1日の取り組みについての反省及び評価

10. ボランティア・実習生関係

①ボランティア

今年度も昨年同様行事への参加ボランティアのみにとどまりましたが、作品展・バザーにおいては延12名のボランティアを受け入れました。

②実習生

市立中学校がおこなっている中学2年生福祉及び職業体験の受け入れを行いました。

③特別支援学校

東住吉特別支援学校等、平野特別支援学校、住之江特別支援学校の夏休み一日体験の受け入れを行いました。

11. 行事報告

H28度行事については計画書に基づき下記のとおり実施しました。

		内部行事		外部行事
4月			14	大阪ガスチャリティバザー
			24	みんなのまつり横丁
			29	阿倍野どっぶり昭和町
5月	11	木下大サーカス<20日・23日・24日・27日>	22	阪南青空マーケット
	18	外出レクリエーション神戸ベイクルーズ<26日>		
6月	3	木下大サーカス<6日>		
	8	外出レクリエーションシティプラザスパリゾート<14日>		
	13	みどり教室作品展&模擬店		
	23	一泊旅行天橋立<23日~24日>		
7月	7	外出レクリエーションエキスポシティ<20日>	22	みんなの作品展ワークショップ
9月	1	一泊旅行天橋立<1日~2日>		
	16	外出レクリエーション舞洲スポーツアイランド		
	29	一泊旅行天橋立<29日~30日>		
10月	13	一泊旅行天橋立<13日~14日>	1	西成区就労系事業所つながりフェスタ
	20	外出レクリエーション舞洲スポーツアイランド	21	寺西家手づくりてん
	29	みどり教室作品展&模擬店	29	阿倍野つながりフェスタ
11月	18	外出レクリエーションダスキンミュージアム<24日>	3	阿倍野区民体育祭
			11	第10回みんなの作品展<11日~15日>
	24	外出レクリエーション奈良公園	12	大阪施設連絡協議会アート展
12月	13	外出レクリエーション京都鉄道博物館	17	クリスマスイブコンサート
1月	26	外出レクリエーション宝塚歌劇観劇	28	日中どこいこフェスタ
2月	17	外出レクリエーション宝塚歌劇観劇		
	24	外出レクリエーション吉本新喜劇		
3月	17	交流会		
	22	外出レクリエーション相撲観戦		

1 2. 地域との連携

地域への取り組みとして、今年度もさまざまな行事への参加および各団体との連携に努めました。地域活動協議会と連携し『清明が丘ふれあい喫茶』での作品販売や、地域包括支援センターを中心とした地域活動『金塚ふれあいバザー』へ参加しました。また、児童デイの子どもたちがみどり教室に見学・体験に来られたり、高齢者施設より作品づくりを見学に来られるなど施設間での交流を積極的に行いました。地域の皆さんとの交流を通じて、みどり教室の周知、地域とのつながりが生まれました。

＜地域参加行事＞ みんなのまつり横丁、 阪南青空マーケット、どっぷり昭和町、日中活動系事業所説明会 阿倍野つながりフェスタ、阿倍野区民体育祭、

1 3. 研修報告

H 2 8 度研修については下記のとおり参加しました。

- 5月 阿倍野区自立支援協議会 「ご存知ですか？発達障がい」
大阪府集団指導
- 6月 医療と福祉の連携強化のためのシンポジウム
阿倍野区施設連絡会初任者研修①
- 7月 地域貢献事業へレンケラー財団講演会「LD、ADHD児等の理解と教育的支援について」
大阪発達総合医療センター 「重症心身障がい児者に対する医療的ケア研修」
阿倍野区施設連絡会研修 「障がい者虐待について」
阿倍野区施設連絡会初任者研修②
地域包括支援センター研修「ちゃんと、しつとこ。地域診断について」
てんかん基礎講座
- 8月 阿倍野区自立支援協議会「知的障がい者の特性と支援方法」
阿倍野区自立支援協議会「支援に必要な構造化とは」
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（チームリーダーコース）①
- 9月 阿倍野区施設連絡会初任者研修③
特別支援教育講座「ヒヤリハットについて」
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（チームリーダーコース）②
「社会福祉法等の一部を改正する法律にともなう社会福祉法人の今後の経営について」
阿倍野区施設連絡会研修 ヘレンケラー財団メロディ・リズム施設見学
- 10月 阿倍野区事業所連絡会「地域福祉における横のつながり」
こころの健康講座「精神症状を抱える方への理解を深める～統合失調症を中心に～」
- 11月 阿倍野区施設連絡会初任者研修④

- 1 2月 「地域福祉の理念とこれからの地域福祉実践をかんがえる」
- 1月 大阪重症心身障害児者を支える会 「護身術」
- 2月 阿倍野区施設連絡会研修会 「大阪市における要配慮者支援の取り組み」
阿倍野区事業所連絡会「サービスを越えての連携～家族支援をもとに考える～」
- 3月 阿倍野区自立支援協議会「震災！そのときどうする？熊本地震から学ぶ」
大阪重症心身障害児者を支える会実践発表会

1 4. その他

①ひやりハット報告書の作成

日常の中で気づくひやりハットにについて報告記録し事故防止に努め、毎日のミーティングにおいて確認し記録を行いました。

②事故報告書の作成

事故が発生した際には正確に検証・記録し、事故の再防止を図りました。